

市場営業統括部 チーフ・エコノミスト 山下えつ子

電話 03-3282-5879

今週のポイント

ドル/円： 小動き

	23日 正午	次回発行まで	3ヵ月後
ドル/円	107.35 円	107.00-108.20 円	100.00-110.00 円

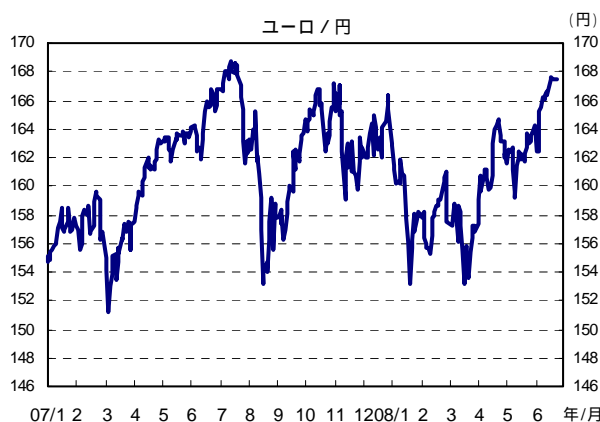
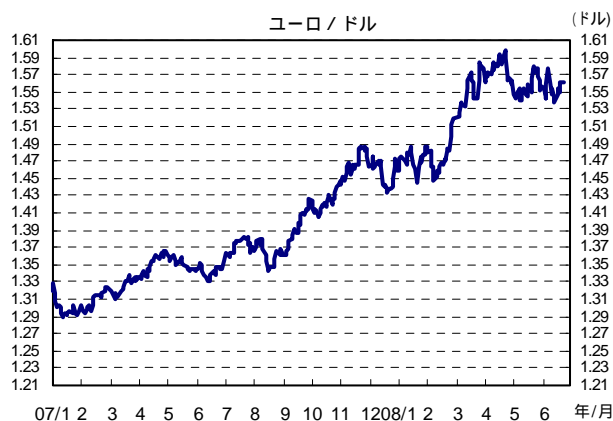
- ・ FOMCまでドル相場は動けず。
- ・ FOMC後の動きは一瞬だけ。



ユーロ/円： やや下落

	23日 正午	次回発行まで	3ヵ月後
ユーロ/円	167.50 円	166.00-167.50 円	160.00-170.00 円
ユーロ/ドル	1.5605 ドル	1.5450-1.5650 ドル	1.5000-1.6000 ドル

- ・ ユーロは経済指標の重要度増す。



本レポートは、13日(金)から本日正午までの情報を元に作成しています。

FOREX WEEKLY は弊行ホームページでもご覧頂けます。
(<http://www.smbc.co.jp/> マーケット情報 外国為替
情報 フォレックス・ウィークリー)

(データ出所：Reuters)

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成日現在の筆者の意見を示すのみです。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。

足元のマーケット動向、及び今週の見通し

		先週のレンジ	今週の予想レンジ
ドル	ドル/円	107.11-108.59 円	107.00-108.20 円
ユーロ	ユーロ/ドル	1.5303-1.5652ドル	1.5450-1.5650ドル
	ユーロ/円	165.65-168.13円	166.00-167.50円

(先週のレンジは13日金曜日正午～本日正午、予想レンジは本日正午～27日金曜日正午)

先週は米国の利上げ観測からドル円は108円台半ばまで上昇し、そこで膠着状態。その後週末に株安(ダウは約3ヶ月ぶりの12000ドル割れ)を背景にドルが売られ、ドル円は107円台前半まで下落した。過去2週間ほどのドル相場は「原油高 期待インフレ上昇 米利上げ観測 ドル高」という発想の中で動いていた。だが、先週は原油相場(WTI先物)が130ドル台で高止まりする一方、メディア報道などを契機に利上げ織り込みが一部剥され、その中で株式相場が下落しドルが売られていく展開となった。

今週は24・25日に米FOMCが開催される。Fedの利上げに対するスタンスを見極めたい、とドル相場はFOMCまでは方向感なく推移しよう。ただ、現時点の市場の目線対比ではサプライズはないのではないかと。

景気下振れリスクは和らいだが依然として残っている(4月声明文よりやや改善の印象?)、インフレリスクは高まっている、強い警戒が必要(4月よりやや警戒感大?)、となると予想するが、違和感ないだろう。利上げ票はゼロ、あっても1票と思うが、2票入れば金利上昇 ドル上昇。ただし、声明文自体がインフレ警戒感は十分強いものの8月の利上げを示唆するものではない、というものならば、反対票が2票入っても、相場の反応は一瞬で終わるだろう。

原油相場の方は、G8財務相会合、ジッタ会議を経ても大きな変化がない。ドル安是正の姿勢も、サウジの増産計画も、投機マネー監視の話も、一部の国で実施されている利上げも、今のところ原油相場を下落させるには不十分だった。中東情勢の緊迫やナイジェリア情勢など地政学リスクが原油相場を下支えしている面もある。ただ、原油高を背景に、インフレ、金利上昇、株安、通貨安、といった危機的な状況に陥る新興国も散見され始めており、現在の原油バブルには危ういものを感じる。投機筋のネットロング・ポジションが既に5週連続で縮小しているため、そろそろバランスが崩れてくるかもしれない。

米国の住宅市場の調整は未だ底が見えず、一部モノラインの格下げや地銀の不芳な決算など金融機関を巡る問題も長期化しそうだ。この状況下ではFedは本来ならば利上げをしたくはなからうが、原油相場がまだ上昇を続ければインフレファイターとしては利上げに追い込まれる。原油相場の下落が先か、Fedは利上げに追い込まれるのか。今は原油相場とFedの動向をじっと見るしかない。

ユーロ圏では、7月の利上げはほぼ確実。焦点はその後。今週は週初にドイツifo景況指数、ユーロ圏製造業・サービス業PMIの発表がある。ECBは連続利上げは想定していないと表明しているため、景気指標の重要度が増す。原油高の影響などから弱めの経済指標が出るとユーロ売りの反応は大きめとなる。今週のあり得る為替相場の動きは、週初はユーロ圏の経済指標でユーロは上下するが(どちらかと言えばユーロ売り)、その後は米FOMCまで全般に小動き、FOMC直後はドル上昇の可能性があるが一時的。週末はドル円が107円台後半、ユーロドルは1.5550近辺、での通過を予想する。